

群馬県流域別環境基準維持達成計画（令和8年～）策定について

令和7年2月18日
群馬県環境保全課

1. 策定の目的

- ◎流域別の汚濁負荷状況（将来予測を含む）を把握する。
 - ・発生源対策を担う主体（下水道部局等）の取組を促進。
 - ・水質保全行政に関する基礎資料とする。

2. これまでの策定状況

平成7年度　きれいな水確保計画
平成12年度　健全な水戦略 21
平成18年度　群馬県流域別環境基準維持達成計画
平成23年度　群馬県流域別環境基準維持達成計画
令和3年度　群馬県流域別環境基準維持達成計画（現行）

3. 現行計画（R3～R7）

- ・県内を7流域75ブロックに分割（裏面図参照）
- ・ブロックごとに家庭排水、工場排水、畜産排水、自然負荷等の排出源データを収集し、河川への負荷量を推計
- ・自然浄化を計算し、環境基準点におけるBODを推計
- ・各排出源の将来予測を基に負荷量と水質の将来を予測


4. 今回の策定概要

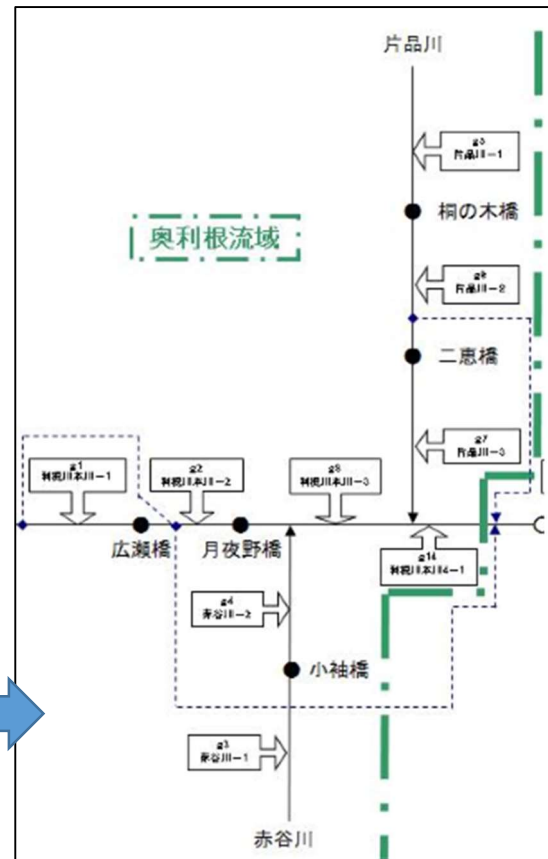
- ・平成23年度までの計画における策定作業は、外部委託により実施していたが、令和3年度の計画策定作業は県衛生環境研究所で実施しており、今回の計画策定についても、県衛生環境研究所に依頼する。
- ・計画期間　R8年度～R12年度
※衛生環境研究所における負荷量推計の技術継承を考慮し、前回計画と同様に5年間とした。
- ・負荷量推計に用いるブロック分けは、現行計画を引き継ぐ。

5. 今後の予定

令和7年2月～　資料収集
 5月～　データ処理作業
 10月～　とりまとめ作業
令和8年2月　　県環境審議会水質部会で説明
 4月～　計画期間開始

ブロック模式図
(奥利根流域の例)


 ブロックから
流入する負荷



7 流域の分割図